

【地域資源を活用した持続可能なまちづくりプロジェクト 調布市と南部町における実践的アプローチ】

代表教員：高橋大輔

プロジェクト構成員：久住華／神部寧音／金子智咲／小玉幸歩／宮崎真衣／宍倉美波
清水月乃／中井杏／鈴木愛梨／大塚羽紗／佐藤優々奏／川邊しほ子

【目的】

□ 調布

空き家問題に着目し、空き家を地域コミュニティの拠点として再生するプロジェクトを展開

空き家を活用して地域住民が集う交流スペースを創出し、世代間のつながりや地域コミュニティの活性化を図っている

防災機能の強化や治安向上といった都市課題の解決にも貢献し、持続可能な地域づくりに寄与

□ 南部町

地域に豊富に存在する竹資源を活用した建築デザインを提案

伝統的な素材である竹と現代建築技術を融合させる

地域資源を活かした持続可能な建築の実現



地元産業の活性化や雇用創出を促進
環境負荷の軽減に貢献

地域内外の交流を促進し、
南部町の文化的魅力をより広く発信

【内容】

□ 調布

建築要素を取り込みながら、広報に尽力

モノの交換ボックス「どうぞの箱」制作、ペインティングワークショップ、雨樋を使った流しそうめん、ZINE作成

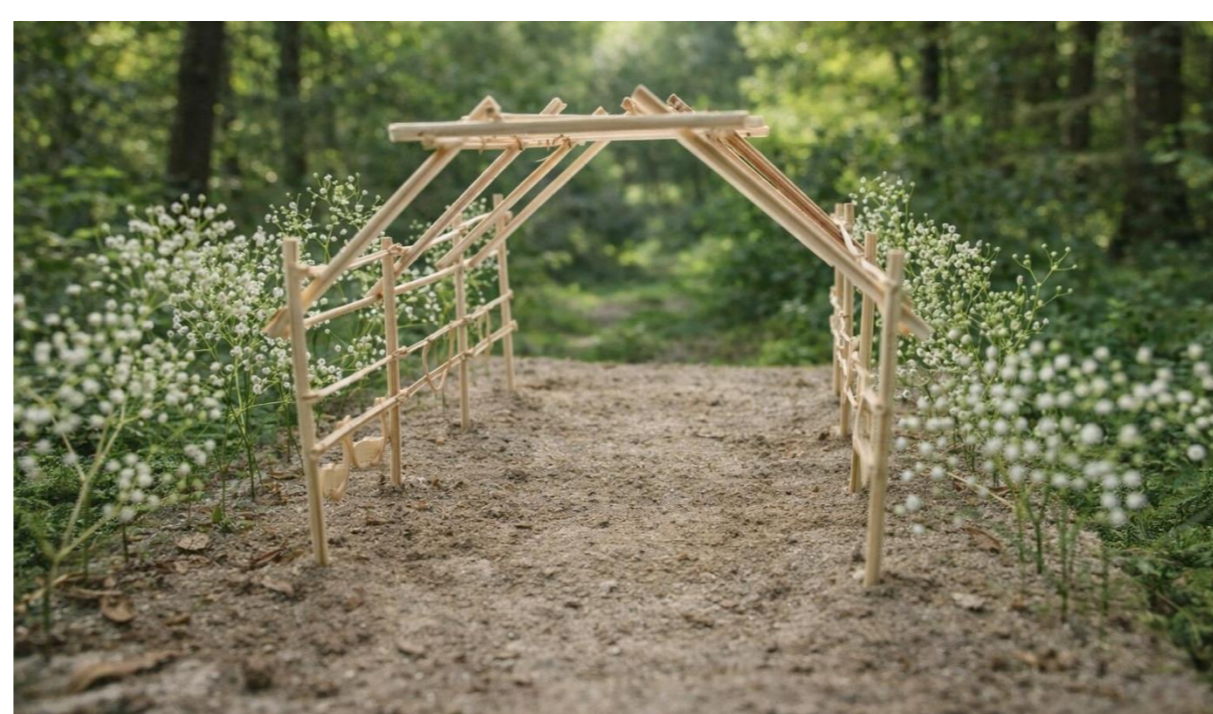
世代交流や地域のつながりを促進

□ 南部町

赤猪岩神社に南部町の竹を使用した絵馬かけを考案

ご利益として、日本で唯一の「よみがえり」の聖地、「再生・復活」のパワーがある

この場所から地方再生をリードする



【結果・成果】

□ 調布 空き家再生によるコミュニティ活性化

学生への教育効果

地域課題に対する実践的な解決策を考案することで、リサーチ力やデザイン力、プレゼンテーション能力を養う

学内連携効果

萩生田ゼミとの共同活動を通じて、異なる視点や専門知識を取り入れ、学生の協働力や課題発見力を向上

□ 南部町 竹資源の活用を通じた地元産業の振興

学生の活用

- ・現地調査、ヒアリングの実施
調布市では空き家再生、南部町では竹資源活用に向けたデザインを提案
- ・企画立案から実施、評価まで主体的に参画
各段階に学生が主体的に関わり、地域住民と協働する場面も
- ・異分野連携による多角的アプローチ
南部町では建築構造を専門とする萩生田ゼミとの連携により学生同士が協力